



ゆきおとこ ほんとう 雪男は本当にいるの

いるかどうかわからない

ゆきおとこ ほんとう
雪男とは、ヒマラヤ山脈の中にいる毛むくじゃらの巨人で、人間に近い正体不明の動物をさしています。スノーマンとか、イエティともいわれています。この雪男を、1889年、イギリス人の登山家が見たというのです。しかも、雪男の足あとと思われる写真まであるのです。しかし、足あとだけでは、残念ながら、姿がよくわからないのです。

ヒマラヤ山脈の雪男は、見たという話はあるても、つかまえたという話はありません。最初に雪男を見たといわれてから、もう100年以上たっているのに、まったく正体がわかっていないのです。したがって、雪男がいるとも、いないとも、どちらともいえないのです。本物が見つかったり、死体でも発見されれば、はっきりするでしょう。今のところは、わからないとしかいえないのです。

せかいじゅう ほんとう 世界中にあるに話

ゆきおとこ ほんとう
雪男に話、世界中にあります。全身毛むくじゃらの、ゴリラのようなおばけのような生き物を見たという話は、アメリカやカナダ、中国に多いようです。日本でも、広島県比婆郡というところの山奥に住んでいると、話題になったことがあります。

しかし、世界中に、にたような話がかかなりあるのに、1ぴきもつかまっていなばかりか、死体やふんを発見したという話もあります。

ゆきおとこ ほんとう
雪男のような動物が、本当にいたらおもしろいでしょうが、これだけ長い間さがしても見つからないということは、いないと考えた方がよさそうです。(監修・青木 国夫)

